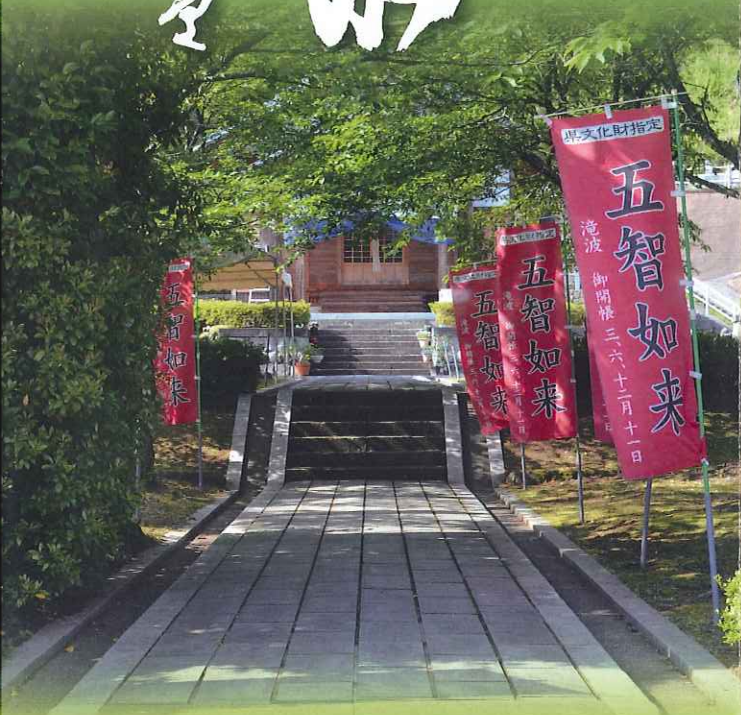


福井県指定文化財

# 五智如来

滝波五智如来堂



## 年間行事

3月、6月、12月の11日に御祈祷  
午後2時から

## 修復の歴史

五智如来は過去にも修復されており、江戸時代の修復では、仏像に和紙を張り色彩を施したことがわかりました。今回の修復は、平成25年から4年の歳月をかけ五智如来が作られた平安後期の様相に戻す修復を行いました。過去に少なくとも2回の修復の痕跡を残す漆箔の跡が確認されています。



千年のいのり

# 五智如来

〒910-3643 福井県福井市滝波町43-18  
連絡先：滝波清流会館 電話：0776-98-5081  
(なお、参観の際には事前にご連絡ください)

## 滝波五智如来



像高160cm、膝張り127cm、膝奥102cm  
ケヤキ材・一木割矧ぎ造り・漆箔仕上げ  
特徴として、胸の前で智拳印を結び頭が螺髪姿の大日如来は、余り例がなく全国的にも珍しい仏様です。



像高87.3cm  
膝張り75.5cm  
膝奥56.3cm



像高87.3cm、膝張り75.5cm  
膝奥56.3cm

ケヤキ材・一木割矧ぎ造り・漆箔仕上げ  
特徴として、金箔が直接像に塗られていたことが今回の修復によって確認されました。



像高93.0cm  
膝張り74.3cm  
膝奥50.8cm

ケヤキ材・一木割矧ぎ造り・漆箔仕上げ  
特徴として、螺髪を彫り出し肉けい珠・白ごう相を表す。目は彫眼とし、耳だは環状としています。



像高93.0cm、膝張り74.5cm  
膝奥50.8cm

## 福井市指定文化財



地藏菩薩立像 聖観音菩薩立像 持国天立像 多聞天立像

いずれも平安後期の作とされ2016年3月25日に福井市の文化財として指定されました。五智如来堂に安置されている仏像9体全てが文化財に指定されています。



## 滝波五智如来の歴史

五智如来は奈良時代の養老年間（八世紀はじめ）に建立された高野山薬王寺（現在、滝波町南面に広がる山林）の仏像群にあったとされています。薬王寺は三十二堂一宇が立ち並ぶ大寺院群であったようです。しかし、天正二年（一五七四年）六月一八日、一向一揆により焼き打たれ谷に捨てられました。（村人が谷に埋め隠したという説もあり。）その後、先人により現在の地に安置されたとされています。以来、滝波町民によって家内繁栄、五穀豊穰、所願成就の仏として護持され人々の熱い信仰を集めています。

## 五智如来とは

密教において中心となる五つの仏様で、仏の究極の智慧「五智」を具現化した仏様

- ・大日如来…宇宙の真理を現す智慧の仏様  
全宇宙を神格化した仏の中の王
- ・釈迦如来…現実生活を悟りに向かうべく成就させていく智慧の仏様  
苦しみから悟りを開いた実在した人物。仏の起源
- ・薬師如来…左手に薬壺を持ち、病を治し病苦から救う仏様  
死後救済するのではなく、この世で利益を授ける  
仏様
- ・阿弥陀如来…万物が持つ各々の特徴を見極め、その個性を活かす智慧の仏様  
極楽世界の教主であり人がこの世を去る時、極楽浄土に向かい入れる仏様
- ・宝生如来…万物が仏であり、平等の仏性を持つことを悟る智慧の仏様  
あらゆるものは平等であるという精神を説く仏様

## 配置図

持国天立像

宝生如来坐像

薬師如来坐像

聖観音菩薩立像

大日如来坐像

地藏菩薩立像

釈迦如来坐像

阿弥陀如来坐像

多聞天立像

